

医薬保健学域 医薬科学類 生命医科学コース

【授与する学位】 学士（生命医科学）

大学（大学院）の目的	学類（研究科）の教育研究上の目的
金沢大学は、教育、研究及び社会貢献に対する国民の要請にこたえるため、総合大学として教育研究活動等を行い、学術及び文化の発展に寄与することを目的とする。	<p>医薬保健学域は、高齢化・少子化や疾病構造の変化を背景に、日常生活の質〔Quality of Life(QOL)〕を重視した患者本位の全人的医療の提供のため、関連する医学、保健学及び薬学の分野が相互に協力して、統合的な医療教育を行い、人間性を重視し、総合的な能力を有する高度医療人及び研究者を養成することを目的とする。</p> <p>医薬科学類は、次代の先進医療や画期的新薬開発等のイノベーションにつながる先端的な医薬科学研究を世界レベルで展開するための高度な研究基盤力を備えた人材を養成する。また、医学と薬学の基礎的知識、生命医科学領域／創薬科学領域の研究を遂行するために必要な専門的知識・スキル並びに世界をリードする研究者に求められる研究マインド、倫理観及び国際性を身につけさせることを教育研究上の目的とする。</p>

ディプロマ・ポリシー（DP）	カリキュラム・ポリシー（CP）	アドミッション・ポリシー（AP）	
【卒業認定・学位授与に関する基本的考え方（前文）】	【教育課程編成に関する基本的考え方】	【入学者受入れに関する基本的考え方（前文）】	
<p>医薬科学類では、「次代の先進医療や画期的新薬開発等のイノベーションにつながる先端的な医薬科学研究を世界レベルで展開するための高度な研究基盤力を備えた人材を育成する」という教育理念に掲げた人材を育成するため、所定の卒業要件を満たし、以下に掲げる学修成果を達成した生命医科学コースの者に、学士（生命医科学）の学位を授与する。</p>	<p>医薬科学類では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる学修成果を達成するため、医学・薬学双方の基礎的知識を身につけ、医薬科学の基盤を形成した上で、「基礎医学・生命医科学」に専門性を分化し、深化させるとともに、各分野の最先端の知識・スキルを身につけることが重要である。また、「先端的な医薬科学研究を世界レベルで展開する」ために、入学後の早い時期から研究マインド・倫理観を醸成するとともに、国際的な感性・素養や語学力を身につけることも不可欠である。このような理念の下、各々に対応する科目群を設定するとともに、医薬共通の基礎から生命医科学コースの深い専門性をシームレスに学べるよう、階層化した教育課程を編成している。</p>	<p>医薬科学類は、次代の先進医療や画期的新薬開発等のイノベーションにつながる先端的な医薬科学研究を世界レベルで展開できる高度な研究基盤力を備えた研究者人材の養成を基本理念とします。</p> <p>本学類には、生命医科学と創薬科学の2つのコースがあり、1年次に医学と薬学の基礎的科目を共通に修得した後、コースに分かれて各専門性を深化させ、大学院博士前期・後期課程に進学して、医学・薬学の幅広い視点といずれかの深い専門性を併せ持つ特色ある研究者人材の養成を目指します。</p> <p>「生命医科学コース」では、薬学の基礎的知識も備えた、基礎医学・生命医科学領域を専門とする研究者を、「創薬科学コース」では、医学の基礎的知識も備えた、基礎薬学・創薬科学領域を専門とする研究者を養成します。</p> <p>各コースへの配属は、2年進級時に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。本学類では、以下に示す人材を広く求め、特に少数精鋭の特徴的な医薬科学教育を受けて、将来、世界の最先端医療や医薬品の研究・開発をリードする意欲を持つ人の入学を期待します。</p>	
【学生が身に付けるべき資質・能力】	【教育内容・教育方法（教育課程実施）に関する基本的考え方】	【求める人材】	
【学修成果】	【教育内容】	<ul style="list-style-type: none"> 十分な基礎学力を備えている人 基礎医学及び基礎薬学を広く学び、生命医科学や創薬科学の発展に興味を持つ研究心旺盛な人 将来、次代の先進医療や画期的新薬開発等のイノベーションにつながる研究成果を挙げて社会に貢献したい人 	
<p>（1）医学と薬学の基礎的知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 医学と薬学の各分野の根幹となる基礎的知識を身につけている。 医薬科学研究に取り組む上で必要な基礎的知識を身につけている。 <p>（2）基礎医学・生命医科学領域の研究を遂行するために必要な専門的知識・スキル</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎医学の専門的知識を身につけている。 生命医科学各分野の基礎的な知識・スキルを身につけている。 基礎医学・生命医科学の特定領域の深い専門性を身につけている。 主体的な自己研鑽により、身につけた専門的知識・スキルを実践レベルまで発展させることができる。 <p>（3）世界をリードする研究者に求められる研究マインド、倫理観、国際性</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門分野の未解決な問題を抽出して解決する意欲と基礎的な能力を身につけている。 論理的な思考力と表現力を身につけ、他者と論理的に議論できる。 生命倫理と研究倫理の基礎的知識を身につけている。 国際的視野を有し、英語でコミュニケーションする基礎を身につけている。 	<p>1. 教育内容</p> <p>以下の科目の履修を通して、（1）医学と薬学の基礎的知識、（2）基礎医学・生命医科学領域の研究を遂行するために必要な専門的知識・スキル、（3）世界をリードする研究者に求められる研究マインド、倫理観、国際性を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学域GS科目群では、学域に共通した学びの核となる基礎を学ぶ。 学域GS言語科目群では、学域に共通した学びの核となる基礎的な言語を学ぶ。 専門基礎科目群では、医学と薬学の基礎的知識を修得する。 専門共通科目群では、世界をリードする研究者に求められる研究マインド、倫理観、国際性を修得する。 コース専門科目群では、生命医科学コースで研究を遂行するために必要な専門的知識を修得する。 課題研究科目群では、生命医科学コースで研究を遂行するために必要なスキルを修得する。 <p>2. 教育方法</p> <p>（1）1年次は、医学・薬学の基礎的知識を身につけるとともに、研究マインドや倫理観の醸成をスタートする。</p> <p>（2）2年次のコース配属以降は、配属されたコースにおいて、コース専門科目を履修して専門性を深めつつ、英語でのコミュニケーション力を鍛えて国際性を醸成する。</p> <p>（3）3年次Q2以降は、研究室に配属して課題研究に取り組み、研究活動に必要なスキルを身につけ、各研究分野での研究力を高めていく。また、創薬科学コース専門科目の履修を可能とすることで、多様化・複雑化する基礎医学・基礎薬学研究の課題解決に向けた他分野の知見を付加する。</p>	<p>【学修成果の評価】</p> <p>（1）授業科目に対して成績評価の基準及び方法を明示し、それに基づいて、学修成果を評価する。</p> <p>（2）学士課程での学修成果の達成状況は、カリキュラムポリシーに沿って実施される各授業科目の学修成果、修得単位数、GPA等によって測定・評価する。</p> <p>（3）課題研究の審査は、「医薬科学試問」における研究成果の審査により実施する。</p>	【選抜の基本方針】
		<p>■一般選抜</p> <p>高等学校で学ぶ教科全般についての基礎的知識と、特に数学、理科及び英語の高いレベルの学力を筆記試験によって評価します。</p> <p>■超然特別入試（A-lympiad 選抜）</p> <p>「日本数学 A-lympiad」における受賞及び調査書を参考にして、理数系分野及び英語の高いレベルの学力、医薬分野の勉学意欲及び資質等を口述試験（プレゼンテーションを含む）によって総合的に評価します。</p> <p>■帰国生徒選抜</p> <p>学類での授業を理解するための学力を個別学力検査により評価し、理数系分野の知識、医薬分野の勉学意欲及び資質等を口述試験によって評価します。</p> <p>■国際バカロレア入試</p> <p>数学、理科の学力を成績評価証明書により評価し、理数系分野の知識及び英語の高いレベルの学力、日本語によるコミュニケーション能力、医薬分野の勉学意欲及び資質等を口述試験によって評価します。</p> <p>■私費外国人留学生入試</p> <p>日本語の聴解・読解力に加え、数学、理科及び英語の学力を重視するとともに、学類での授業を理解するための学力を個別学力検査により評価し、理数系分野の知識、日本語によるコミュニケーション能力、医薬分野の勉学意欲及び資質等を口述試験によって評価します。</p>	
		【入学までに身に付けて欲しい教科・科目等】	
		<p>高等学校で履修する科目（大学入学共通テストで課している科目）について、しっかり理解できていることを求めます。</p> <p>特に、理数英科目の高い基礎学力と理解力が必須です。また、先進的な医療や医薬品に関して、日頃から意識と関心を持つことを望みます。</p>	